

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も、ご利用者と過ごす時間を増やすと共に、看護師が講師になり、コミュニケーションや医療面の勉強を行う予定である。ご本人の真の能力を把握し、座位や移動などの自立支援に取り組み、楽しみも増やして行きたいと考えている。	初心に戻って「認知症ってなに？」から始める。自分自身が変わる。認知症の高齢者の思いや生活背景を共有する。入居者の笑顔が増える。	認知症介護実践者研修を終了しているスタッフ(3名)受講中のスタッフ(1名)が中心になる。又、勤務体制により全スタッフが集合出来ないのでミニカンファレンスをこまめにする。事前事後のスタッフのアンケートをとる。	ヶ月
2	43	今後も、ケアマネ(看護師)からのアドバイスを受けながら、真の排泄の自立支援に取り組む予定にしている。パットの必要性や使用枚数の妥当性を深く検討すると共に‘普通の生活‘を改めて見つめなおしていきたいと考えている。	オムツ外しに向けた排泄表(表改良)と健康チェック表(表改良)の2表を見ることにより、個人の状態把握が出来るようになる。	オムツ外しに向けた排泄介助表と健康チェック表を改良し、新しい表に基づいて実施してみる。又、必要に応じて改良していく。この2表をセットで経過観察し、次の月に変わった時点で個人ファイルに保管する。	ヶ月
3	49	事務長も、職員に外出支援を勧めており、職員も外出好きな方が多い。ホームの玄関前で日向ぼっこを増やす事から始め、短時間でのドライブも増やしていきたいと考えている。座位が困難な方も、外気浴を含めて気分転換が出来る方法を検討していく予定である。	散歩しながら地域の人々と笑顔で挨拶や会話出来るようになる。寝たきりの方の日光浴。	日向ぼっこ(日光浴)や散歩(徒歩、車椅子、シルバーカーの利用を試みる)の回数を増やす。地域の方々には当方より会釈、声かけを積極的に行いお互いを知る機会とする。又、スタッフの介護力の向上により、先ずは寝たきりの方のベッドごとの移動を試みる。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月